

【概要版】第5期静岡市水素エネルギー利活用促進アクションプラン

水素エネルギー利活用促進アクションプラン

【目標】

【目標達成に向けたプロジェクト】

【具体的事業】

【指標】

水素エネルギーを活用した「静岡型水素タウン」の実現

共通プロジェクト

水素エネルギーの普及拡大

水素利用の促進に向けた情報発信

燃料電池を活用した機器の普及拡大

技術革新などに伴う水素エネルギー導入可能性の検討

各種モビリティへの利用拡大も含めた需要創出

港湾部プロジェクト

清水港を活用した水素エネルギーの利活用

港湾部の特性を活かした需要の創出

周辺地域への水素輸送

都市部プロジェクト

水素エネルギーの面積整備・利用システムの構築

小規模分散型水素製造・循環システム等の導入

水素エネルギーの面積整備・利用システムの構築

山間部プロジェクト

未利用エネルギーを活用した水素エネルギーの利活用

温泉付随ガス(メタン)と微生物を活用した水素製造

自立分散型エネルギー供給システムの確立

★市民向け環境教育

普及啓発事業の実施

★学校教育への組み込み

学習教材の活用促進

★イベントや防災訓練等での燃料電池自動車の活用

各種イベント等での活用、普及啓発

★燃料電池自動車の試乗モニター制度の実施

試乗モニター制度の運営

★燃料電池商用車等の導入支援

燃料電池商用車等市内導入に向けた事業者等との協議

★家庭用燃料電池の導入支援

ZEH住宅普及セミナー開催等

★産業用燃料電池の導入支援検討

産業用燃料電池の技術革新状況の把握とモデル事業の検討

★純水素型燃料電池の活用検討

純水素型燃料電池の技術革新状況の把握と活用策検討

★水素事業伴走型支援に向けた検討

燃料電池商用車の運行事業支援実施、その他検討

★水素等先駆的なGX事業を行う事業者に対する支援

グリーン転換推進事業実施

★技術開発の動向等の意見交換、課題解決の検討

静岡市水素エネルギー利活用促進協議会の運営

★港湾部における需要創出の検討

港湾管理者(県)や関係事業者等との検討・協議

★周辺地域の需要創出及び輸送方法の検討

港湾管理者(県)や関係事業者等との検討・協議

★導入施設の候補選出

技術革新状況の把握と市域での導入検討

★先進事例研究

技術革新状況の把握と市域での導入検討

★水素生成リアクター実証実験の実施支援

水素生成能力の高効率化、分離技術の研究

★適地調査・有用有機廃棄物の調査

★温泉資源を活用した供給システムの研究支援

分散型エネルギー生産システムの研究

<2025実績> <2026目標>

水素を活用したまちづくりを必要と思う市民の割合

95.2% ⇒ 100%

燃料電池(家庭・業務)

3,326台 ⇒ 5,420台

モビリティの水素需要規模

約12t/年 ⇒ 18t/年

清水みなとエリアにおける水素サプライチェーン構築

(港湾特有の多様なモビリティに向けた供給体制の整備)

自動車向け供給の開始 ⇒ 多様なモビリティへの供給に向けた協議の実施

水素エネルギーの面積整備・利用システムの構築

— ⇒ 将来構想の策定

山間部における自立分散型エネルギー供給システムの確立

実証研究の実施 ⇒ 実証研究の実施

<静岡市の水素エネルギー利活用の方向性>

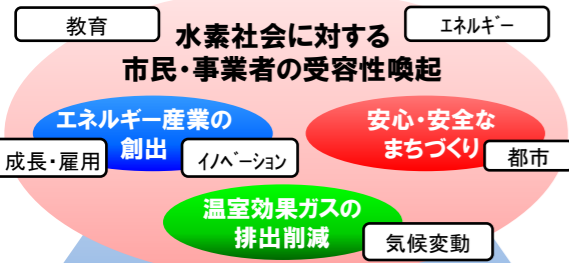
第3次静岡市地球温暖化対策実行計画

計画期間: 2023年度から2030年度まで

目標

水素エネルギーを活用した「静岡型水素タウン」の実現

<SDGs(※)と関連付けた基本的視点>



※ SDGs(持続可能な開発目標)とは、平成27年9月の国連サミットで採択された2030年度までの世界共通の目標(17のゴールと169のターゲット)

<目標達成に向けたプロジェクト>

(共通プロジェクト)

水素エネルギーの普及拡大

(都市部プロジェクト)

水素エネルギーの面積整備・利用システムの構築

(港湾部プロジェクト)

清水港を活用した水素エネルギーの利活用

(山間部プロジェクト)

未利用エネルギーを活用した水素エネルギーの利活用

第5期静岡市水素エネルギー利活用促進アクションプラン

計画期間: 2025年度から2026年度まで

具体的事業・指標

- ・事業内容
- ・スケジュール
- ・指標(現状、目標)